



ごあいさつ

当社は 2005年に、環境マネジメントシステムの国際認証 ISO14001を取得し、環境方針を掲げて省エネルギーやリサイクルなどに取り組んでまいりましたが、2017年 4月、その環境方針を改訂し、新たに「商品のライフサイクルを通した環境配慮」という視点を追加いたしました。店舗からの直接的な環境負荷だけでなく、生産者さんや物流段階、更にはお客様宅での環境負荷の低減にも貢献できないか、と考えたのです。背景には、「店舗や売上が増えていく中、当社が使うもの、捨てるものだけを減らし続ける目標設定には限界がある。もっと前向きに取り組めるコンセプトが必要だ。」という思いがありました。

例えば、小さなキズがありそのままの販売には向かない野菜も、まとめて仕入れ、店内で加工するサラダの原料に使えば、生産者側の廃棄を減らすことができます。また、「少しだけ食べたい」「食材を使い切れない」というお客様は、総菜をご利用いただくことで、家庭内の食品ロスを削減できるかもしれません。いずれの取組みも、当社からの直接的な環境負荷は低減できませんが、社会全体で見ればプラスに働きます。商品のライフサイクルの真ん中に位置するスーパーマーケットだからこそ出

来る事は何か、広い視点で「環境への配慮」に取り組むことにしました。

一方、2017年 8月には新たな社会貢献活動として、当社の店舗数が最も多い東京都世田谷区をホームタウンとしている「なでしこリーグ」2部所属の女子サッカーチーム「スフィーダ世田谷 FC」とスポンサー契約を締結しました。地元チームをサポートしようと、店頭にはポスターやのぼりを掲げ、試合の際にはお客様、お取引先、当社社員が三位一体となって応援します。店舗では、それぞれが工夫を凝らした応援コーナーで盛り上げるので、自然にお客様との会話も弾み、コミュニケーションが増えました。皆様と「感動を共有できる活動」として、今後の展開が楽しみな取組みの1つです。

地域、社会、環境との関わりを見つめ、サミットがどう取り組んでいくべきかを考えるのに「これで終わり」というゴールはありません。工夫しながら、楽しみながら、チャレンジしてまいります。今後とも、更なるご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 竹野 浩樹